

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和4年9月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和4年9月定例会会議録

1 日 時 令和4年9月22日(木曜日)  
午後2時30分～午後4時15分

2 場 所 5-A会議室

3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員

4 出席職員 教育次長  
総務課長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
学校適正配置推進室長  
生涯学習室長  
御所野学院高等学校長  
御所野学院高等学校事務長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学事課長補佐  
教育研究所副所長  
総務課主席主査  
学事課主席主査  
学校適正配置推進室主席主査  
土崎図書館主席主査  
総務課主査  
学事課主査  
土崎図書館主査  
総務課主任

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第13号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

### 【教育長等の報告】

- (1) 令和5年度秋田市立御所野学院高等学校連携型中高一貫入学者選抜実施要項について
- (2) 令和4年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について
- (3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (4) 土崎図書館昇降機更新工事に伴う館内利用制限について

## 6 議 事 午後2時30分開会

### 【令和4年8月定例会会議録の承認】

令和4年8月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【付議案件】

議案第13号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

教育長 議案第13号「教育委員会事務の点検・評価に関する件」  
について、事務局から説明願う。

総務課長

学校教育課長

学事課長

学校適正配置推進室長

生涯学習室長

(資料に基づき説明)

委員

学識経験者の意見を拝見したが、かなり具体的に方向性を示した提言があった。大きく分けて、ICTの積極的な活用、アフターコロナに係る指針、教職員の働き方の変化の3つである。これら一つ一つに取り組んでいくには、教

育委員会の各部署で努力していくほかないと思うので、よろしく願います。中でも、SNSやオンラインという言葉が何回か出てくるが、秋田市役所のツイッターアカウントの他に消防本部、大森山動物園、選挙管理委員会等がアカウントを持っており、より広く細かく市民の皆さんに情報提供するため、教育委員会もアカウントを持って情報発信してもよいのではないかと思った。

教育長  
委員

いただいた提案について、充分検討していきたいと思う。学識経験者の意見が具体的であったということは、報告書の内容もかなり具体的に示されていることの現れであると思った。防犯カメラや児童生徒のタブレットの活用、コロナ対応等おおむねよい意見をいただいております、生涯学習においても、工夫された講座や発信の仕方を評価されていることから、コロナ禍においても学校教育活動や社会教育活動が停滞することなく行われていると思った。これらに対し、教職員や保護者の自己肯定感を高めることが求められるという厳しい意見もあったが、若い先生が先輩の先生と共に経験する中で自己肯定感を高めていけばよいと思うし、保護者はコロナ禍ではあるが、PTA活動を通じて互いに高め合えばよいと思った。

教育長

コロナ禍の中で、地域との連携やPTA活動のあり方などが話題になることがあるが、コロナ禍になってからの状況はどうか。

学校教育課長

令和2年度、3年度は、コロナウイルス感染症がどのような病気か分からないということもあり、一人感染者が出ただけで騒ぎになる状態であったため、令和2年度から3年度にかけてのPTA活動や学校運営協議会はなかなか集まることができなかった。令和4年度においては、100パーセントまで戻ったとはいえないが、工夫してPTAなどの開催も少しずつ増えてきている状況である。

委員

学識経験者の意見で、いじめをゼロにする、撲滅するという発想ではなく、早期に発見して解決に取り組むことが重要であることであったり、生涯学習に係る市民ニーズの把握の実効性を検証することについて触れるなど、非常に有益な意見があった。生涯学習に係る意見に対しては、先ほどの説明において、受講者アンケートをやり始めている

というような話もあったため、これから受講者アンケートの回答から実際の学習機会の提供につなげていくことになるのだろうと思った。

生涯学習室長 受講者アンケートについては、これまでも実施していたが、社会教育中期計画の策定に当たって、アンケート項目を一部見直したものである。見直しの趣旨としては、今後の社会教育は事業の量だけでなく、質を高めていかなければならないということで、講座の理解度や満足度を確認して、事業に反映させていきたいと考えている。

委員 実際に受講した方の貴重な意見を基にすることで、具体的にどのような学習機会を提供すればよいか見えてくると思うので、今後もブラッシュアップしていただきたい。

委員 学識経験者の意見を読み、この後の報告事項である全国学力・学習状況調査の今後の課題とつながる部分がたくさんあると思った。また、生涯学習におけるオンラインに関して、リアルタイムやオンデマンドなどいろいろあると思うが、受講者側でつながらないなど、今後の課題になるのではないかと思う。

生涯学習室長 オンライン講座の実施方法については、今後検証していくことになるが、想定しているのは座学の講座や実演の講座など講座の内容や形式に適応したオンラインでの放送や録画での配信といった方法を選択していきたいと考えている。

教育長 受講者側の環境もあるだろうが、できるだけ受講しやすいよう工夫が必要だと思う。

また、教育委員会事務の点検・評価報告書の34ページで、学識経験者から、不登校についてはコロナ禍の影響があると思われるため、検証してほしいという非常に難しい意見をいただいているが、どのような対応を考えているか。

学校教育課長 不登校について協議する教育相談推進委員会において、大学教授、臨床心理士、医師、学校長からコロナ禍における影響について助言をいただいている。元々欠席しがちだった子どもがコロナウイルス感染症に感染し、それを機に長期的に休みに入ってしまう例があったことやコロナ禍による貧困化が不登校にも影響したことも考えられるといった意見もあった。また、学校に行くことができないから学

校を休むということ、子どもが主張しやすい世の中になってきたといった意見もあり、これら様々な要因が相まって不登校につながっているのではないかという話が出ている。まだ1回しか開催していないため、今年度中により多くの意見をいただき総括した上で、今後の施策に生かしていきたい。

教育長 様々な意見があるが、実際に不登校の児童生徒数が跳ね上がっている。不登校になった児童生徒数が昨年度は約100人増えているが、学校が把握している状況を積み重ねるなど、様々な情報を集めながら検証していくとともに、新たに不登校になった児童生徒の状況を把握していく必要があるのではないかと思われる。

委員 法律相談を受けていると、コロナ禍になって収入が激減してしまい、給付金によりやっと生活することができたという話もあり、そういった収入の減少による家庭環境の悪化が不登校に関係しているのではないかと今お話を伺って思った。その部分に関する調査は難しいとは思いますが、調査項目に組み込むことで、実態が浮かび上がってくるかと思われる。

学校教育課長 学校において、複数回答による不登校のきっかけのアンケートを行っており、その中に家庭に関わる状況の項目があり、例えば、家庭内の不和や家庭環境の急激な変化という回答もあるが、全てがコロナ禍の影響と結びつく訳ではないため、分析して状況把握していきたい。

委員 不登校に関連した様々な施策を秋田市が行っていることが保護者になかなか伝わっていないことをいつも感じており、保護者が何か困った事態になったときには、ホームページで検索して見つけるというのが多いようである。先生方にもそういった保護者の現状を把握していただき、先生方から保護者に周知する流れも必要だと思う。

学校教育課長 担任の先生が理解しておらず、保護者に伝えられないということが多くあったが、ここ2、3年情報提供に力を入れており、例えば、引きこもりの子どもに大学生を派遣するフレッシュフレンドについて、ポスターやチラシを作り宣伝したところ、活用回数が増えたため、これからも継続していきたいと思う。

※ 議案第13号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 令和5年度秋田市立御所野学院高等学校連携型中高一貫入学者選抜実施要項について

教育長                    それでは、報告(1)「令和5年度秋田市立御所野学院高等学校連携型中高一貫入学者選抜実施要項について」、事務局から説明願う。

学事課長                (資料に基づき説明)

委員                    実施要項の8の合格者の発表(事前配付資料5ページ)についてであるが、1月31日午後4時に学院高校においてとあるが、ホームページなどでは発表しないのか。

校長                    ホームページにおいても発表する。

教育長                   現在の御所野学院高等学校の1年生から3年生までの生徒の中にも連携型中高一貫入学者選抜により入学した生徒がおり、その生徒たちは、御所野学院中学校在学中に御所野学院高等学校との交流を経験していると思うが、この生徒たちが御所野学院高等学校において発揮しているよさをどのように感じているか。

校長                    併設型中高一貫校の時には、全員が同じ中学校から進学し、初めから知り合っている生徒同士で活動していたのに対し、今の連携型中高一貫校に移行してからは、他の中学校の生徒が入学することによって、刺激を受けて負けじと力を発揮する生徒たちが増え、活力が出てきたと感じている。

教育長                   連携型中高一貫入学者選抜により入学した生徒たちが募集要項の2の出願資格(事前配付資料2ページ)にもあるようにリードしているということか。

校長                    もちろんリードして活躍していることもあるが、他の中学校の生徒の入学により刺激や緊張感が生まれ、改めて自分の学校を愛する気持ちが生まれているように感じており、併設型中高一貫校の時と比べ、本当に明るく元気な印象である。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和4年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について

教育長                    それでは、報告(2)「令和4年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について」、事務局から説明願う。

教育研究所長            (資料に基づき説明)

委員                      子どもたちが学習に向かう家庭生活や学校生活が非常に安定していると思った。特に、児童生徒質問紙調査の結果から、自分には、よいところがあると思っている子どもの割合が8割を超えていることが、人との関わりの項目の割合の高さにつながってきており、先生方が自己肯定感を高める取組に努めている現れだと思った。学習についての項目においても、学習した内容について見直し、次の学習につなげることができている割合が多くよかったと思う。中学校の数学で正答率が11パーセントの問題があったとのことであるが、問題の内容がどうだったのか。また、全国においても同程度の正答率だったのか教えていただきたい。

教育研究所長            当該の問題は、証明問題であった。数学担当の指導主事等に確認したところ、大変難しい問題だったということであり、全国においても正答率が低かった。過去の全国学力・学習状況調査においても証明問題が何度か出題されているが、今回のように全部書かせる形の証明は初めて出題された。生徒たちが一生懸命書こうとしていたことは見て取れた。

委員                      少しずつそういった学力が求められているということかもしれない。

委員                      児童生徒質問紙調査の結果から、人との関わりのうち、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合が全国平均を13ポイント上回っているのは特筆すべきことであり、秋田市が授業や学習活動で地域を取り上げることが多い面が反映されている結果ではないかと思った。また、家庭生活では、自分で計画を立てて勉強をしている子どもの割合が、小学生で16ポイント、中学生で14ポイントと、全国平均を大きく上回っている。



こうしたことも、小学生の頃から家庭学習ノートを一人1冊配布するなどの地道な取組を進めた成果の現れではないかと感じた。学習については、前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した子どもの割合が全国平均を18ポイント下回っていることが今後の課題であり、環境は整っているため、いろいろな場面で活用する機会を多くしていただくことで全国平均に近づいていくのではないかと思った。

教育研究所長 ICT機器については、昨年度の同種の項目で、小学生が24パーセント、中学生が20パーセントであった。そこから40ポイント以上上がっていることから、今後の伸びに期待している。また、今夏の小学校教員を対象にした各教科等の研修会において、ICT機器を使った授業づくりについての研修も行ったため、こちらも期待できるものと考えている。

教育長 学校訪問において、ICT機器の使用については、学校間格差があると感じており、それを解消するため、各学校に応じた研修を行いながら、格差が生じないように取り組んでいければと思う。

学校教育課長 格差があると認識しているため、ICT機器の活用に関して、学校の要望に応じた研修を実施しているところである。秋田市の先生は、授業力があるため、タブレットの使用によって逆に効率が落ちるという意識がある人もいるのではないかと思う。いきなりタブレットを使用した効果的な授業を求めるのではなく、まずは子どもたちに使わせることを考えるよう意識改革を図っていきたいと考えている。

委員 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるということが基本であると思っており、先生方がこれをきちんと指導し、それを子どもたちも理解していると感じた。また、家庭生活における携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている子どもの割合も全国平均を上回っており、秋田市が様々な取組をしている成果が出てきていると感じた。

自分自身の項目のうち、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合は、100パ

一セントでないといけないと思う。誤差の範囲かも知れないが、全体で見るといけないことだと思っていない児童生徒が数十人いることになるため、今回原点に立ち返った方がいいのではないかと思った。

教育長 この質問の選択肢は、どのようなものであったか。

教育研究所長 「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階であり、資料の数字は、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」という肯定的な回答を集計している。

教育長 秋田市の子どもたちは、生活面も含めて、順調に育っているのではないかと感じた。

なお、小学校算数の割合の問題で、果汁入りの飲み物の量が2分の1になると、果汁の割合も2分の1になると間違った児童が多いようである。全国的にも平均正答率が低い、基本的な内容と思われるため、この結果を受けて各校で改善の取組を進めてほしい。

教育研究所長 割合の問題については、1番（飲み物の量が2分の1になると、果汁の割合も2分の1になります。）を選んでしまった児童がとても多かった。二人で分けると薄くなるという考え方だと思われるが、おそらく日常生活と授業で学んだ割合が結び付いていないためであり、算数においても、日常生活の具体的な場面と結び付けて指導するなどしなければならないと思う。

委員 例年同種の質問項目だと思われるが、年々ポイントが上がってきている項目や全国平均より高い項目であっても、「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」を選んだ子どもたちの状況を考えたときに、経過を見たいと思っている項目がある。特に、困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子どもの割合が8割ないことは、正直低いと思った。日頃から子どもたちとの関係づくりなどいろいろ行っているとは思いますが、先生方においても子どもたちが困ったときに相談できる関係であったり、事が大きくなる前に気付く環境を作ってほしいと思う。また、自分には、よいところがあると思っている子どもの割合が、小学生でも16パーセントが

思っていないと考えると残念である。

学力については、今回の中学校3年生が、小学校6年生当時に行った学力・学習状況調査の課題に対して、改善に力を入れて、今回の状況調査で成果に結び付いているかといった、縦に見ることはしているか。

教育研究所長 質問項目については、国で年度ごとにその時に合った質問を設定している。例えば、先ほどの「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という質問は、初めて出されたものであり、今、国ではこの項目が重要と考えていると捉えている。自分自身についての4つの質問については、変わらずに置かれているものである。秋田市でもこれらを大切な4つと考えており、秋田市においては例年8割、9割を超える状態が続いているが、全員が自分のことを好きだと思えるということが求められるべき状態だと思うため、先生方にさらに情報発信などをしていきたい。

また、今回の中学校3年生が小学校6年生の時の学力の状況と質問紙調査の状況を比較している。教科調査では、小学校の時には、国語と算数共に全ての問題や領域において、全国平均を上回っていたが、今回は、図形と関数の領域が全国平均を下回ったため、これらについては力を入れなければならないと考えている。質問紙調査においては、例えば、「人の役に立つ人間になりたいと思う」は、小学校6年生の時と同じ数値であった。一方で、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」は、小学校6年生の時から17ポイントも下回っており、コロナ禍の影響で地域の行事が中止になってしまったことなども背景にあるかもしれないと思っている。こういった比較については、中学校の学校訪問で情報提供していきたいと思っている。

教育長 教科調査は、一人一人の個票があるが、質問紙調査の結果をどの児童生徒がどのように答えたかについて、学校で把握できるのか。

教育研究所長 学力調査については、グラフ化もされて、全国の正答数や個人の正答数が表示された個票で児童生徒一人一人に渡されるが、児童生徒質問紙については、個票の形ではなく

学校ごとにまとまったデータが渡される。ただし、学校側で気になった場合などは、個人の番号により追跡することは可能である。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長                    それでは、報告(3)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長    (資料に基づき説明)

委員                    土崎小、土崎南小学校統合検討委員会が7回行われてきて、使用する校舎の方向性が定まったことは、事務局が粘り強く地域の皆さんの話を聴きながら丁寧に進めてきた結果であると思った。次回、統合時期や合意書の内容についても丁寧に進めてもらえればと思う。

委員                    土崎南小の校舎が新しいということだが、土崎小と比べて校舎の築年数はどの程度違うのか。

学校適正配置推進室長    土崎小が昭和43年に建築されて築54年であり、土崎南小が昭和59年に建築されて築38年であり、敷地に関しても土崎南小が広い。

委員                    土崎小の関係者も土崎南小の方が子どもたちの教育環境としてよいという方向で集約していつているのか。

学校適正配置推進室長    一部で地域から学校がなくなることにに対する懸念の声もあるようであるが、子どもたちの教育環境を第一に考えて協議を進めている。

委員                    土崎南小の校舎を使用する方向とのことだが、校名はどうなるのか。

学校適正配置推進室長    校名の変更などについては、第3段階の学校統合準備委員会で検討することにしてはいる。ただし、この2校の組合せに関しては、歴史的経緯から土崎小の名前を残したいという意見もあるため、検討委員会においてもそういった話題を協議する必要があると考えている。

※ 教育長等の報告(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 土崎図書館昇降機更新工事に伴う館内利用制限について

教育長                    それでは、報告(4)「土崎図書館昇降機更新工事に伴う館内利用制限について」、事務局から説明願う。

土崎図書館主席主査    (資料に基づき説明)

委員                    3か月程度利用制限されるが、普段どのくらいの方が利用されているのか。

土崎図書館主席主査    昨年度の入館者は、計57,950人、1日平均200人である。

教育長                    予約本であれば、貸出しや返却は対応するということか。

土崎図書館主席主査    館内の資料については、全て貸出し可能となっている。予約本のほかにも、窓口で利用者からの要望を聞いた上で、司書が見繕って貸出しを行う予定である。

委員                    昇降機は、どのくらいの方が使っているのか。また、足の不自由な方や高齢者が使う場合が多いのか。

土崎図書館主席主査    2階の研修室や種蒔く人資料室を利用する方がいるほか、月に1回ブックスタート推進事業という赤ちゃん向けの絵本に関するイベントがあり、子どもをベビーカーに乗せたお母さんたちが利用する。

※ 教育長等の報告(4)については、以上のとおり終了した。

## 【その他】

委員                    9月8日に令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会にオンライン出席したので、報告する。

私は、「いじめ対策・不登校支援」と「教育の情報化」の分科会に参加した。千葉県市川市において、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのほかに、市独自予算で全小中学校にライフカウンセラーを1名配置しており、週3日6時間の勤務で、小学校では特に資格を要しないが、中学校では臨床心理士などの有資格者を配置することにより、不登校支援を手厚くしているとのことであった。秋田市においても、学校訪問で不登校の割合が上がっているとする経緯説明が多いため、こういった取組を今後行っていく必要があるのではないかと思った。教育の情報化については、同じグループ内の参加者のほとんどが、私立の小中学校がある自治体からの参加であり、私立と公立との格差について議論が交わされた。私立の小中学校にお

いては、数年前から紙での配布物が一切なく、保護者がIDとパスワードでログインして配布物をチェックする形とのことであった。他の自治体では、私立と公立のICTに関する格差をかなり感じているという状況を確認することができた。

**【今後の日程についての報告】**

総務課長補佐　　10月定例会の日程等についてお知らせする。10月定例会については、10月25日火曜日、午後3時30分から開催する予定である。

教育長　　　　　10月定例会については、10月25日火曜日、午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時15分閉会